

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	解剖生理学IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1)	時間(単位)
対 象 学 年	1 年		学期及び曜時間	通年	教室名	講義室		
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》								
「神経系」について学習する。 当該範囲の国家試験問題の正答を選択できるようになることを目標とする。								
《成績評価の方法と基準》								
提出課題への評価点：30 % 期末試験の得点：70 % (合計で 60 % を超えれば合格)								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
東洋療法学校協会編『解剖生理』 配布プリント Web教材								
《授業外における学習方法》								
授業の最後に提示される課題を、授業内容や教科書などを参考にして完成させること。								
《履修に当たっての留意点》								
授業や課題に真剣に取り組み、その内容を確実に記憶していくこと。								
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第 1 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。 また、復習用の課題を完成させる。	教科書 配布プリント Web教材	特に無し			
		各コマに おける 授業予定	「神経系の分類」、「末梢神経系」についての講義。 課題の完成。					
第 2 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	課題の復習。			
		各コマに おける 授業予定	「神経組織」についての講義。					
第 3 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。			
		各コマに おける 授業予定	「神経細胞の興奮と伝導」についての講義。					
第 4 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。			
		各コマに おける 授業予定	「シナプス伝達」、「中枢神経系の構造」、「中枢神経系の統合機能」についての講義。					
第 5 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。			
		各コマに おける 授業予定	「大脳」についての講義。					

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「間脳」、「脳幹」、「小脳」、「脳波と睡眠」についての講義。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「脊髄」、「中枢神経系の保護と栄養」についての講義。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「自律神経系」についての講義。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「脳神経①」についての講義。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「脳神経②」についての講義。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「脊髄神経①」についての講義。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「脊髄神経②」についての講義。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 「運動性の下行路」、「感覚系の伝導路」についての講義。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義内容についての国試問題に、教材を見ないで正答できるようになる。	教科書 配布プリント Web教材	新しい課題への取り組み。 以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。
		各コマにおける授業予定 これまでの講義内容の振り返り。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 まとめ演習において60%以上の正答率を得る。	復習用教材 試験問題	以前の課題と、当該範囲の国家試験問題を使った復習。  期末試験対策。
		各コマにおける授業予定 まとめ演習		